

○一般質問の日程等

一般質問は、6月16日（木）、6月17日（金）、6月20日（月）、6月21日（火）に行われますが、割り振りについては、6月7日（火）に決定する予定です。

○一般質問項目

質問 順	議席番号 質問者	質問内容
1	 <p>6 番 植田理都子</p>	<p>1 東日本大震災から学ぶ本市の災害対策について</p> <p>(1) 津波対策について</p> <p>(2) 自然災害回避（アボイド）行政の推進について</p> <p>(3) 災害時の情報伝達・広報について</p> <p>(4) 農産物の放射能被害について</p> <p>(5) 小田原市地域防災計画の見直しについて</p> <p>2 文化財等の保存・整備・活用の方向について</p> <p>(1) 史跡小田原城跡本丸・二の丸整備基本構想について</p> <p>(2) 本市の歴史的環境の評価について</p>
2	 <p>11 番 鈴木美伸</p>	<p>1 市長のマニフェストの進捗状況等について</p> <p>(1) 3年間の成果と今後の課題等について</p> <p>2 大震災等を踏まえたまちづくりについて</p> <p>(1) 地震等の防災対策について</p> <p>(2) 市街化区域と市街化調整区域の見直しについて</p> <p>(3) 夏場の節電対策について</p> <p>3 石丁場群の活用について</p> <p>(1) 早川・石橋石丁場群の活用について</p>

<p>3</p>	 <p>16番 安藤孝雄</p>	<p>1 東日本大震災を教訓とした本市の防災計画の見直しについて</p> <p>(1) 神奈川県西部地震などの発生時における津波想定の変更について</p> <p>(2) 津波発生時における避難誘導方法と手段について</p> <p>(3) 被災時における避難所の運営は、2重3重に想定されているのか</p> <p>(4) 海岸に近い学校を避難所として適切と考えるのか</p> <p>(5) 各地域の防災倉庫は帰宅困難者を含めた備えとなっているのか</p> <p>2 東京電力福島第一原子力発電所事故による2次被害への対応について</p> <p>(1) 地産地消を推進する学校給食への安全策について</p> <p>(2) 学校施設における安全策について</p> <p>3 未来を拓くたくましい子どもの育成の推進について</p> <p>(1) 各学校における夏場の教育環境整備について</p> <p>(2) 市単独による個別支援員、スタディ・サポート・スタッフなどの増員について</p>
<p>4</p>	 <p>7番 鈴木敦子</p>	<p>1 片浦地区の教育環境について</p> <p>(1) 片浦小学校における小規模特認校について</p> <p>(2) 旧片浦中学校のあり方について</p> <p>(3) 江之浦保育園について</p> <p>2 計画停電に伴う小田原市の節電対策について</p> <p>(1) 今までの経緯について</p> <p>(2) 今夏の市としての対応について</p>
<p>5</p>	 <p>4番 小澤峯雄</p>	<p>1 桜井地区における自噴井戸について</p> <p>(1) 東日本大震災以降の水質について</p> <p>(2) 自噴井戸の状況について</p> <p>(3) 井戸水と水道水の併用について</p>
<p>6</p>	 <p>9番 楊 隆子</p>	<p>1 本市の介護認定の現状と改善について</p> <p>(1) 本市の高齢化の進展と介護保険サービスの現状について</p> <p>(2) 介護認定の問題点とその改善について</p> <p>2 小田原市災害時要援護者支援マニュアルの見直しについて</p> <p>(1) 東日本大震災の教訓をどのように反映させていくのか</p> <p>(2) 災害発生時の具体的な支援活動について</p>

7	 <p>5 番 佐々木ナオミ</p>	<p>1 子どもたちの安全に向けた大規模災害対策について</p> <p>(1) 避難体制について</p> <p>(2) 放射能対策について</p> <p>(3) 支援の必要な子どもたちへの対策について</p> <p>2 原発事故後の本市のエネルギー政策について</p> <p>(1) 小田原市地域新エネルギー計画の現状と新たな取り組みについて</p>
8	 <p>3 番 木村正彦</p>	<p>1 小田原の活性化戦略について</p> <p>(1) 現状と課題について</p> <p>ア 人口減少</p> <p>イ 高齢化対策</p> <p>ウ 企業の撤退</p> <p>(2) 経済都市をめざすべきと思うかどうか</p> <p>2 財政健全化について</p> <p>(1) 交付団体となつての反省と効果は</p> <p>(2) 財政健全化3ヶ年、5ヶ年計画の策定は</p>
9	 <p>12 番 神永四郎</p>	<p>1 小田原市学校教育推進計画について</p> <p>(1) 特色ある学校づくりの現況と今後の課題等について</p> <p>(2) 子どもの生きる力の醸成等について</p> <p>(3) 安心して学べる場づくりについて</p> <p>2 (1) スポーツ・文化施設の点検と整備・改修について</p> <p>3 (1) 小田原ちびっこマラソン大会の継続について</p>
10	 <p>13 番 井上昌彦</p>	<p>1 選挙投票結果について</p> <p>(1) 投票率について</p> <p>(2) 投票率を上げる為の施策について</p> <p>2 放射性物質検出について</p> <p>(1) 放射性物質の測定について</p> <p>(2) 放射性物質に関する情報の一元化について</p>

<p>1 1</p>	 <p>2 番 野坂 稔</p>	<p>1 東日本大震災発生後の本市の対応と今後の防災対策について</p> <p>(1) 東日本大震災について市長の所見を伺う</p> <p>(2) 夏までに発表するとした津波に対する新たな具体的対策と進捗状況について</p> <p>2 津波被害に関心が集中しているが、その他の防災対策と現状は</p> <p>(1) 市庁舎及び木造住宅の耐震補強について</p> <p>(2) ブロック塀の倒壊防止策について</p> <p>(3) 市内の橋梁の耐震性について</p> <p>3 (1) 液状化対策について</p> <p>4 (1) 老朽水道管の整備と災害時用飲料水の指定井戸について</p> <p>5 (1) 三保ダムの安全性について</p> <p>6 原発事故による影響について</p> <p>(1) 小中学校等の校庭での放射線量について</p> <p>7 (1) 災害時の情報伝達について</p> <p>8 (1) 太陽光発電の推進について</p>
<p>1 2</p>	 <p>1 番 鈴木紀雄</p>	<p>1 東日本大震災に関連して</p> <p>(1) 防災対策の見直しについて</p> <p>(2) 災害情報の発信方法について</p> <p>(3) 広域避難所の見直しについて</p> <p>(4) 津波対策について</p> <p>(5) 学校施設等の放射線被ばく対策について</p> <p>(6) 公共・民間建築物等の耐震診断と耐震補強について</p> <p>(7) 被災地支援に関連して</p> <p>ア 交流都市等支援について</p> <p>イ 節電対策について</p>
<p>1 3</p>	 <p>10 番 今村洋一</p>	<p>1 地方版企業の社会的責任（CSR）の導入について</p> <p>(1) 企業の社会的責任と小田原市版CSRについて</p> <p>(2) 地域密着型経営地方版CSRについて</p> <p>2 本市の今後の防災対策について</p> <p>(1) 事業継続計画（BCP）の策定について</p> <p>(2) 防災基準と情報発信啓発について</p> <p>(3) 海拔表示板の今後の活用拡大について</p>

<p>1 4</p>	 <p>8 番 安野裕子</p>	<p>1 災害に強いまちづくりに向けての諸課題について</p> <p>(1) 「安心手帳」等の普及について</p> <p>(2) 情報伝達手段の改善と充実について</p> <p>(3) 市民と共に考える防災計画について</p> <p>ア 災害時要援護者の支援について</p> <p>イ 災害図上訓練D I Gや避難所H U G（避難所運営ゲーム）の導入について</p> <p>ウ 市民との情報の共有について</p> <p>(4) 津波対策について</p> <p>2 家族介護者の支援について</p> <p>(1) 家族介護者交流事業の実績と今後の課題等について</p> <p>(2) 外出時のトイレ介助について</p>
<p>1 5</p>	 <p>2 7 番 原田敏司</p>	<p>1 東日本大震災を教訓にして、災害につよい「まちづくり」の推進を</p> <p>(1) 津波を考慮し、防災対策の見直しを</p> <p>ア 津波を考慮した広域避難所のあり方、適切な避難誘導など研究し、見直しをすべきではないか</p> <p>イ 民間も含め、3階建て以上の強固な鉄筋コンクリートのビルを緊急津波避難施設として確保し、将来的には津波避難ビルを設置することも検討すべきではないか</p> <p>ウ 下水道施設などライフラインの耐震化及び津波対策を行うべきではないか</p> <p>(2) 防災訓練の見直しについて</p> <p>(3) 防災教育の見直しについて</p> <p>(4) 防災対策の見直しは専門家の意見を仰ぐべき</p> <p>2 原子力発電から自然エネルギーへの転換を国に求めよ</p> <p>(1) 世界一危険といわれてきた浜岡原発を運転停止にとどめるのではなく、廃炉にするよう国に求めるべきではないか</p> <p>(2) 最終的にすべての原子力発電所を停止し、廃炉にすること、そして自然エネルギーへの転換を国に求めるべきではないか</p> <p>(3) 市としても自然エネルギーの普及促進を抜本的に強化すべきではないか</p> <p>3 不況が深刻になる中で、中小企業支援策を強化すべきではないか</p> <p>(1) 中小企業の実態調査を行うべき</p> <p>(2) 中小企業の団体等と懇談し、意見、要望を聴取すべき</p> <p>(3) 住宅リフォーム助成制度の導入を求める</p>

<p>1 6</p>	 <p>1 8 番 田中利恵子</p>	<p>1 東日本大震災に関することについて (1) 本市が行っている被災地・被災者への救援・復興の取り組み状況について</p> <p>2 小田原市地域防災計画等について (1) 計画全般の充実と見直しについて</p> <p>3 在宅介護者の支援について (1) 本市の家族介護者支援事業の取り組み状況について (2) 在宅介護者の実態調査をすべきと考えるが、その見解について</p>
<p>1 7</p>	 <p>2 8 番 関野隆司</p>	<p>1 東日本大震災による福島第一原子力発電所による放射能等の小田原市等への被害及び安全対策について (1) 神奈川県県西地区における農林水産物等について ア お茶について イ 梅、ほうれんそうなど農産物について ウ 魚など水産物について エ 風評被害について (2) 放射能汚染と安全対策について ア 学校の運動場等の土壌について イ 大気、水について</p> <p>2 小田原市財政の現状と今後の方向性について (1) 市債等の市の借金は相当減ってきているが現状をどの様にとらえ、今後どの様にしようとしているのか (2) 小児医療費助成制度の拡大や住宅リフォーム制度の創設など、くらしや福祉などを大切に、地域活性への投資が必要だと考えるが</p> <p>3 小田原市立病院を基幹病院として更に充実・確立する方策について (1) 加藤市政の現在迄の取り組みと今後の充実方向について (2) 医師の宿日直手当過払い問題の解決方向について</p> <p>4 (1) J R 御殿場線・殿沢踏切等の拡幅や小田急線踏切の歩道確保等について</p>
<p>1 8</p>	 <p>2 1 番 大野眞一</p>	<p>1 神奈川県の「ソーラープロジェクト」(太陽光発電)について (1) プロジェクトの内容について (2) 本市の関わり方について</p> <p>2 (1) 小田原市立病院の不祥事について</p>

<p>19</p>	 <p>14番 大村 学</p>	<p>1 長興山紹太寺のしだれ桜について</p> <p>(1) 樹勢回復に向けての進捗状況について</p> <p>(2) 長興山紹太寺のしだれ桜のクローン桜について</p> <p>2 東日本大震災を受けての本市の防災計画見直しについて</p> <p>(1) 本市の取り組みについて</p> <p>(2) 小田原市地域防災計画の全面改訂について</p> <p>ア 防潮扉の管理運営について</p> <p>イ 街頭消火器について</p> <p>(3) 防災行政用無線について</p> <p>(4) 節電に対する行政サービスの順応について</p> <p>ア 事業者の就業日変更に伴う保育所、放課後児童クラブの対応について</p> <p>イ 市民や事業者が取り組む節電対応に対する想定される行政対応について</p>
<p>20</p>	 <p>20番 小松久信</p>	<p>1 防災無線について</p> <p>(1) 防災行政用無線固定系子局（屋外スピーカー）の補完として、「音声自動応答装置」を設置すべきと思うが、どの様に考えるか</p> <p>2 公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律（最終改正 平成20年5月2日、法律第28号）等に関連して</p> <p>(1) 本市には対象団体等がどれ位あるのか。又、どの様な団体等なのか</p> <p>(2) それぞれの団体等にはどれ位の本市の職員又はOB等が勤務しているのか</p> <p>(3) それぞれ、どれ位の予算が市から支出されているのか</p> <p>(4) 2013年の移行まで、どの程度、準備が進んでいるのか</p>